

平成28年度「レクリエーションの森」年間活動実績

屋久島レクリエーションの森保護管理協議会

1 施設等の整備等

番号	施設名	林小班	面積	工種	施設の概要	設置主体名	備考
1	白谷雲水峡管理棟	宮之浦嶽国有林 215林班い小班	10㎡	新築	管理棟の建て替え	屋久島レクリエーションの森保護管理協議会	
2	飛流橋	宮之浦嶽国有林 213林班は小班	31㎡	改修	部材取替	屋久島レクリエーションの森保護管理協議会	
3	ヤクスギランド 蛇紋杉横東屋	太忠嶽国有林 86林班い小班	18㎡	改修	屋根取替	屋久島レクリエーションの森保護管理協議会	

2 森林の景観対策等

作業名	林小班	面積	作業の目的等	実施主体等
なし				

3 その他

安全対策	<p>① 協議会職員による巡視(歩道・危険木・手摺り・ロープ等の安全点検)を毎日実施、その結果を管理日誌に記載し、必要に応じて安全点検日誌に記録。</p> <p>② 現地及び案内板に危険場所の明示。</p> <p>③ 入口で利用者への注意喚起。</p> <p>④ ゴールデンウィークや夏期シーズン等に駐車場整理の人員配置。</p> <p>⑤ 関係機関との危険木点検の実施及び危険木、倒木の措置。</p> <p>I、危険木点検の実施 期日；平成28年5月30日 場所；ヤクスギランド 参加機関と参加者数；林野庁4名(屋久島森林管理署3名、屋久島森林生態系保全センター1名)、環境省屋久島自然保護官事務所2名、屋久島町1名(商工観光課)、レク森2名、合計参加者9名 点検結果；対象木56本を点検した結果、以下を確認。 i、島外空師に処理を依頼する対象木………12本 ii、同空師に点検を依頼する対象木………15本 iii、地元林業技術者に処理を依頼する対象木………21本 iv、レク森で注意観察していく対象木………8本</p> <p>II、危険木、倒木の措置 1 Iで確認した対象木で、iii地元林業技術者に処理を依頼するとして危険木21本のうち、レク森職員(有資格者)が処置した危険木………1本(倒木) 措置日；平成28年7月26日 生木・枯木の別 …………… 枯木 対象木の場所；⑮蛇紋杉と⑯天柱橋の間 樹種(処理No.11)；ヤマグルマ(倒木)、切断部分の直径約40cm、長さ約20m 対象木の状態・対策；対象木が歩道を横断した状態で倒れ、歩行の妨げになるため、歩道にかかる部分を切断。</p> <p>III、危険木、倒木の措置 2 Iで確認した対象木で、iii地元林業技術者に処理を依頼するとして危険木(処理No.11を除く20本)の措置日；平成28年8月2日 生木・枯木の別 …………… 生木1本、半枯1本(倒木)、枯木18本(うち倒木2本) 処理 No.1……対象木の場所；⑧と⑬の間にある東屋周辺 生木・枯木の別 ……枯木 樹種；ツガ、切断部分の直径40cm、長さ約20m 対象木の状態・対策；地面から約30cmの高さで伐倒。 処理 No.2……対象木の場所；⑪のそば 生木・枯木の別 ……枯木 樹種；エゴノキ、切断部分の直径33cm、長さ約6m 対象木の状態・対策；地面から約2.5mの高さから折れた倒木(半枯)で地面より約1.3mの高さで切断。 処理 No.3……対象木の場所；⑪の手前(荒川橋寄り) 生木・枯木の別 ……枯木 樹種；スギ、切断部分の直径50cm、長さ約4m 対象木の状態・対策；地面から約4mの高さから折れた根元部分で地面より3mの高さで切断。 処理 No.4……対象木の場所；⑭ひげ長老近辺 生木・枯木の別 ……枯木 樹種；スギ、切断部分の直径48cm、長さ約20m 対象木の状態・対策；倒木が歩道頭上にもたれた状態で歩道にかかる部分を切断。 処理 No.5……対象木の場所；⑭ひげ長老近辺 生木・枯木の別 ……枯木 樹種；ツガ、切断部分の直径50cm、長さ約4m 対象木の状態・対策；約4mの高さから折れた木の元部で、地面から約1.8mの高さで切断。 処理 No.6……対象木の場所；⑭ひげ長老近辺 生木・枯木の別 ……枯木 樹種；ハリギリ、切断部分の直径40cm、長さ約8m 対象木の状態・対策；地面から約1.8mの高さで切断。 処理 No.7……対象木の場所；⑭ひげ長老近辺 生木・枯木の別 ……枯木 樹種；不明、切断部分の直径27cm、長さ約7m 対象木の状態・対策；地面から約2.5mの高さで切断。</p>
------	--

安全対策	<p>処理 No.8・・・対象木の場所 ; ⑮蛇紋杉の手前 生木・枯木の別 ……枯木 樹種 ; スギ、切断部分の直径 35cmと27cm(切り口楕円形)、長さ約7m 対象木の状態・対策 ; 地面から30cmの高さで切断。</p> <p>処理 No.9・・・対象木の場所 ; ⑮蛇紋杉の手前 生木・枯木の別 ……枯木 樹種 ; スギ、切断部分の直径 40cmと35cm(切り口楕円形)、長さ約7m 対象木の状態・対策 ; 地面から約1.8mの高さで切断。</p> <p>処理 No.10・・・対象木の場所 ; ⑮蛇紋杉と⑯天柱橋の中間辺り 生木・枯木の別 ……枯木 樹種 ; スギ、切断部分の直径 42cmと35cm(切り口楕円形)、長さ約10m 対象木の状態・対策 ; 地面から約1.2mの高さで切断。</p> <p>処理 No.11・・・(Ⅱ、危険木、倒木の措置 1で措置済。)</p> <p>処理 No.12・・・対象木の場所 ; ⑰三根杉付近 生木・枯木の別 ……枯木 樹種 ; スギ、切断部分の直径 42cm、長さ約10m 対象木の状態・対策 ; 地面から約1.2mの高さで切断。</p> <p>処理 No.13・・・対象木の場所 ; ⑰三根杉と⑱の間 生木・枯木の別 ……枯木(かかり木) 樹種 ; スギ、切断部分の直径 40cm、長さ約20m 対象木の状態・対策 ; 斜面に水平に伸びる歩道の頭上に、斜面下部から歩道を挟んで斜面上部に倒れ込んで他の樹木のかかり木となっている対象木を切り落とし、歩道にかかる部分を切断。</p> <p>処理 No.14・・・対象木の場所 ; ⑰三根杉と⑱の間(中間辺り) 生木・枯木の別 ……枯木 樹種 ; 不明、切断部分の直径 43cmと37cm(切り口楕円形)、長さ約4m 対象木の状態・対策 ; 地面から約1.4mの高さで切断。</p> <p>処理 No.15・・・対象木の場所 ; 沢津橋右岸 生木・枯木の別 ……生木 樹種 ; ヒノキ、 対象木の状態・対策 ; 対象木が沢津橋のワイヤーに接触しているため、接触部分を削り、そこに石を挿入してワイヤーが直接対象木に接触しないように施す。</p> <p>処理 No.16・・・対象木の場所 ; ⑳と㉑仏陀杉の間 生木・枯木の別 ……枯木(倒木) 樹種 ; スギ、切断部分の直径 50cm、長さ約15m 対象木の状態・対策 ; 対象木が歩道頭上に倒れているため、歩道にかかる部分を切断。</p> <p>処理 No.17・・・対象木の場所 ; ㉑仏陀杉そば 生木・枯木の別 ……枯木 樹種 ; スギ、切断部分の直径 20cm、長さ約10m 対象木の状態・対策 ; 地面から約2mの高さで切断。</p> <p>処理 No.18・・・対象木の場所 ; ㉑仏陀杉そば 生木・枯木の別 ……枯木 樹種 ; スギ、切断部分の直径 23cm、長さ約10m 対象木の状態・対策 ; 地面から約2.2mの高さで切断。</p> <p>処理 No.19・・・対象木の場所 ; くぐり杉の手前 生木・枯木の別 ……枯木 樹種 ; 不明、切断部分の直径 20cm、長さ約5m 対象木の状態・対策 ; 地面から約10cmの高さで切断。</p> <p>処理 No.20・・・対象木の場所 ; 清涼橋と出口の中間辺り 生木・枯木の別 ……枯木(かかり木) 樹種 ; スギ、切断部分の直径 40cm、長さ約10m 対象木の状態・対策 ; 地面から約2.5mの高さで切断。</p> <p>処理 No.21・・・対象木の場所 ; 清涼橋の手前 生木・枯木の別 ……枯木 樹種 ; 不明、切断部分の直径 35cm、長さ約5m 対象木の状態・対策 ; 地面から約1.6mの高さで切断。</p>
	<p>⑥ 防犯カメラの作動。(両管理棟入口)</p> <p>⑦ AEDの耐用年数経過による再設置(両管理棟)と白谷避難小屋に新設。</p>
<p>受益者負担の</p> <p>收受・活用</p>	<p>收受 : ゲート方式、リーフレット(英語版を含む)・絵葉書付き領収書の配布。 英語・韓国語・中国語併記の案内図配布。(白谷雲水峡)</p> <p>活用 : 施設の維持補修、白谷雲水峡のリーフレット17万部、同絵葉書付領収書団体用7万部、個人用10万部、並びにヤクスギランドのリーフレット14万部及び同絵葉書付領収書団体用8万部、個人用7万部印刷。 トイレの維持管理。</p>
ソフト対策	<p>① 「山の日」制定記念イベント「屋久島の森林」(森林教室)の共催。 Ⅰ、目的 ; ミス日本みどりの女神の来島を機に、8月11日が国民の祝日「山の日」に制定されたことと併せて、レクリエーションの森として国民に広く親しまれる屋久島自然休養林と屋久島世界自然遺産地域の保全・保護への取り組みを国民に広くPRする。 Ⅱ、実施日 ; 平成28年8月21日(日) Ⅲ、場所 ; 白谷雲水峡(開会セレモニーは屋久島離島開発総合センター) Ⅳ、主催等 主催 ; 林野庁(九州森林管理局、屋久島森林管理署、屋久島森林生態系保全センター) 共催 ; 屋久島町、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会 Ⅴ、参加費 ; 100円(参加者傷害保険代として) Ⅵ、参加者数 ; 親子参加者21名(大人9名、子供12名)、一般参加者54名、合計75名 Ⅶ、イベント内容 ; 2016年度「ミス日本みどりの女神」飯塚帆南氏を中心に地域参加型イベントを進める。名称は「屋久島の森林2016」、サブタイトルは「感じてみよう 知ってみよう 屋久島の森林と…」とし、次の2つの取り組みを行った。 ⅰ、白谷雲水峡の登山口において、「山の日」及び自然休養林のPRとチラシ配布。 ⅱ、自然休養林内にある太鼓岩まで森林教室を兼ねた自然観察登山を行い、そこから眺望できる世</p>

<p>ソフト対策</p>	<p>界自然遺産地域の保全・保護への取り組みのPR。 また、コースは参加者の登山経験、体力等を考慮し、太鼓岩コース、苔むす森コースの2コースからの選択とし、8班に分かれて、森林インストラクターの案内で実施した。</p> <p>② 小中学生への作文募集、審査、展示、HPでの応募作品の紹介及び審査発表。 I、募集期間 平成28年9月1日～平成28年9月30日 II、展示 <屋久島環境文化村センター交流ホール> 平成28年11月9日～平成28年11月16日 <安房総合センターロビー> 平成28年12月1日～平成28年12月14日 III、各学校別応募作品数 i、中学校3校；中央中学校11作品、安房中学校4作品、岳南中学校1作品。 ii、小学校7校；神山小学校24作品、永田小学校12作品、宮浦小学校9作品、一湊小学校3作品、小瀬田小学校2作品、安房小学校2作品、栗生小学校1作品。 iii、応募総数 町内3中学校より16作品、7小学校より53作品、総数69作品。</p> <p>③ 白谷避難小屋の維持管理及びトイレし尿の搬出。(搬出回数8回、総搬出量7,320ℓ)</p> <p>④ 雨量計の確認。(平成28年年間雨量；白谷雲水峡 5,649.5mm、ヤクスギランド 10,440.5mm) <参考> (平成27年年間雨量；白谷雲水峡 6,619.5mm、ヤクスギランド 10,499.0mm) (平成28年月間最大雨量；白谷雲水峡 10月 1,069.5mm、ヤクスギランド 4月 1,240.5mm) (平成27年月間最大雨量；白谷雲水峡 7月 1,531.5mm、ヤクスギランド 6月 1,837.0mm)</p> <p>⑤ 白谷雲水峡(苔むす森、くぐり杉の2種)、ヤクスギランド(荒川橋上流、千年杉の2種)、風景林(大川の滝、千尋の滝の2種)の6種のポスター(B1サイズ)を発行。</p> <p>⑥ ホームページの更新。 ほぼ毎日、両自然休養林内の気象情報を掲載した他、四季折々の草花や鳥類等の紹介、レク森の活動実績・計画・予算・決算の公表、台風情報、冬場の積雪状況、「屋久島の森林2016」の参加者募集、アサヒビールボランティア活動のようす、小中学生作文募集応募作品の紹介等本協議会関連の各事業をタイムリーで紹介。</p>
<p>その他特記</p>	<p>① 歩道の補修。 協議会職員により、手摺り・同金具や踏板・滑り止め交換またはぐらつき補修を随時行った。</p> <p>② 屋久島自然休養林活性化検討会の実施。(4回) I、第1回検討会(出席検討委員8名、協議会事務局3名、計11名出席) 実施日；平成28年7月12日(火)、13:30～15:00 場 所；屋久島離島開発総合センター2階 第2会議室 II、第2回検討会(出席検討委員8名、協議会事務局3名、計11名出席) 実施日；平成28年10月31日(月)、13:30～15:30 場 所；屋久島離島開発総合センター2階 第2会議室 III、第3回検討会(出席検討委員5名(内一人は代理出席)、協議会事務局3名、計8名出席) 実施日；平成28年12月22日(木)、13:30～15:30 場 所；屋久島離島開発総合センター2階 第2会議室 IV、第4回検討会(出席検討委員9名(内一人は代理出席)、協議会事務局3名、計12名出席) 実施日；平成29年3月6日(木)、13:30～15:30 場 所；屋久島離島開発総合センター2階 第2会議室 V、検討結果 i、ヤクスギランドの名称について ア 対象を観光客等(島外者)と町民に分けて「ヤクスギランドの名称について」アンケートを実施する。(実施時期；観光客等7月～8月、町民9月～10月) イ アンケート結果を踏まえた上で、今後の活性化検討会で名称の変更を行うかどうかを検討する。 ii、ガイドングについて ア ガイドングをヤクスギランドで平成29年度に試行的に実施する。様々な問題(本業のガイドとの棲み分け・料金の設定額・集客人数や方法等)はあるが、まず試行してみた後にこれらの問題や新たに発生する問題について検討会で再検討する。 イ 試行時期は、8月と11月に曜日を決めて週2日、1日に午前と午後の2回行う。 (ガイドングの試行を行う予定回数；月4週×週2日×1日2回×2カ月の延べ32回。) ウ ガイドとの棲み分けを行う為、コースは30分コースか50分コースとし、対象を個人客に限定する。 エ 職員のスキルアップと質的サービスの向上を目指すことを目的に、フレキシブル制とし、参加料は協力金とは別に高校生以上一人1,000円とし、参加者多数の場合は先着20名まで、中学生以下は保護者同伴で人員制限の人数にはカウントするが参加料は無料とする。</p>
<p>すべき事項</p>	<p>iii、森林セラピーについて 屋久島自然休養林の活性化を図るため、経営改善の方法として「森林セラピー基地」について検討委員より提案(第2回検討会)されて以降、検討事項の一つとして検討を重ねたが、審査にかかる費用や登録基準等について、さらに調査をする必要があるため、森林セラピー基地の先進地に、屋久島町職員とレク森職員で視察等を行った上で、今後も継続して検討する。</p> <p>iv、新たなコース(新たなメニュー I)について ア 新たなコースの設定 ヤクスギランドに「天文の森」までの新たなコースを平成29年度中に設定する。 イ 新たな「天文の森」コースの範囲(終点)はどこまでとするか。 関係機関(林野庁、環境省、鹿児島県、レク森)で協議して定める。</p>

	<p>ウ 新コースの名称(未定) 今後の検討会で検討する。</p> <p>Ⅴ、多言語おもてなしタグ(新たなメニューⅡ)について</p> <p>ア おもてなしタグの導入 多言語に対応するため、「おもてなしタグ」をヤクスギランドに導入する。 (ヤクスギランドにはドコモ及びauの携帯電話中継局があり携帯の使用ができるが、白谷雲水峡にはないので白谷雲水峡では使用できないため、ヤクスギランドのみの導入。)</p>
<p>その他特記</p> <p>すべき事項</p>	<p>vi、白谷雲水峡楠川歩道木橋の設置について 白谷雲水峡で増水時に制限を行っている太鼓岩往復コースの白谷川渡渉点の安全制確保と利用者へ質的サービスの向上を図るため、国の補助金等を利用して木橋を架けることを第3回検討会で確認したが、該当する国の補助金等を抽出できなかったため、この架橋について、今後の検討会で継続して検討して行く。</p> <p>③ サポーターアサヒビール(株)との共同ボランティア活動の実施。 Ⅰ、実施日時；平成28年10月29日(土) 10:40～15:00 Ⅱ、場所；白谷雲水峡弥生杉コース遊歩道 Ⅲ、参加者数；アサヒビール14名、MBC南日本放送1名、地元関係機関(屋久島森林管理署、屋久島森林生態系保全センター、屋久島自然保護官事務所、鹿児島県屋久島事務所、屋久島町、公益社団法人屋久島観光協会、レク森協議会)26名、森泉ブランド開発研究会6名、ボランティア平和の会7名、南九州酒販(株)1名、(有)熊毛レンタカー1名、屋久島高校生徒ぼんだま会員4名(一般参加者計19名)(参加者総数60名) Ⅳ、主な作業内容；A～Dまでの4班に分け木道の苔落とし (午前中、各班に設置のポリバケツに近くの水場から水を溜め、午後から木道の苔落としを行う。)</p> <p>※ その他のボランティア活動Ⅰ i、活動団体；(株)伊藤園、公益財団法人屋久島環境文化財団 ii、実施日時；平成28年9月10日(土)、11:30～12:30 iii、場所；白谷雲水峡②雲水歩道入口木道から④弥生杉コースとの分岐まで iv、活動内容；手摺りの苔落とし vii、参加者数；(株)伊藤園7名、公益財団法人屋久島環境文化財団5名、同財団ボランティア8名、レク森協議会3名 計23名</p> <p>※ その他のボランティア活動Ⅱ i、活動団体；専修大学松戸高等学校、レク森協議会、レク森協議会 ii、実施日時；平成28年11月29日(火)、15:30～16:30 iii、場所；白谷雲水峡弥生杉コース⑤弥生杉から④方向へ木道を50m程 iv、活動内容；木道の苔落とし vii、参加者数；専修大学松戸高等学校生徒103名、同教諭6名、近畿日本ツーリスト千葉教育旅行支店1名、レク森協議会3名 計113名</p> <p>④ 屋久島山岳部保全利用協議会及び屋久島町エコツーリズム推進協議会との連携。 Ⅰ、屋久島山岳部保全利用協議会との連携 i、ヤクスギランド・白谷雲水峡両管理棟に屋久島山岳部保全募金箱設置 ア 白谷雲水峡管理棟設置募金箱の平成28年度募金額 601,516円 (平成28年4月1日～平成29年2月28日まで) <参考>平成27年度；420,222円 イ ヤクスギランド管理棟設置募金箱の平成28年度募金額 71,962円 (平成28年4月1日～平成29年2月28日まで) <参考>平成27年度；71,562円 ii、世界自然遺産屋久島山岳部環境保全協力金の收受場所(白谷管理棟)の早朝の提供(4:00～8:30)及び同協力金と森林環境整備推進協力金收受の相互協力(平成29年3月1日～) ア 平成29年3月1日～31日に早朝(4:30から)屋久島山岳部保全利用協議会職員が收受した世界自然遺産屋久島山岳部環境保全協力金の額 323,000円 イ 平成29年3月1日～31日にレク森職員が收受した世界自然遺産屋久島山岳部環境保全協力金の額 308,000円</p> <p>Ⅱ、携帯トイレ普及の協力 携帯トイレ販売数 i 白谷雲水峡管理棟 1個入り11袋、2個入り27袋 <参考>平成27年度1個入り37袋、2個入り3袋> ii ヤクスギランド 1個入り11袋、2個入り65袋 <参考>平成27年度1個入り0袋、2個入り91袋></p> <p>Ⅲ、その他 両地区に設置の携帯トイレブース及び携帯トイレ回収箱の管理</p> <p>⑤ 職員の救命措置(AED、応急手当)研修の実施。 Ⅰ、研修日時；平成28年4月21日(木)、17:30～18:40 Ⅱ、場所；宮之浦保健センター Ⅲ、講師；熊毛地区消防組合屋久島北分遣所 Ⅳ、参加者数；14名</p>